

「JFE GROUP REPORT 2026」で お伝えしたいこと

皆様の関心にお答えします

代表取締役社長（CEO）
きたの よしひさ
北野 嘉久



機関変更による
モニタリング強化

財務健全性の確保と
成長投資の
実効性の両立

海外の成長による
資本効率向上への
貢献

カーボンニュートラル
の技術・対応方針

CEOメッセージ	●	●	●	●	●	●		●
CFOメッセージ	●	●		●	●	●		
第8次中期経営計画	●				●	●		
社外取締役座談会	●	●		●			●	
環境的持続性への取り組み	●							●
コーポレートガバナンス		●					●	

現状認識

「JFEビジョン2035」の
実現性

成長戦略の進捗

取締役会での議論

編集方針

「JFE GROUP REPORT 2026」の発行にあたって

JFEホールディングスは、JFEグループの中長期的な価値創造ストーリーを、株主・投資家をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様にご理解いただくことを目的に、経営戦略、財務情報に加えて、ESGなどの非財務情報を統合的に整理した統合報告書を2018年度から発行しています。

2026年度は、第8次中期経営計画の2年目として、その着実な進捗と今後の方針について要点をまとめてご紹介しています。本レポートが皆様のご理解の一助となれば幸いです。

本レポートの編集にあたっては、IFRS財団による「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省の「価値協創ガイダンス」等を参照しています。当社の方針に則って関係部門が協力して誠実に作成しており、統合報告書の作成プロセスおよび記載内容が正当であることを、ここに表明します。

CONTENTS

価値創造の源泉

- 4 グループ理念
- 5 パーパス／ビジョン
- 6 JFEグループの現在地

価値創造戦略

- 8 CEOメッセージ
- 14 CFOメッセージ
- 18 第8次中期経営計画（2025～2027年度）
 - 18 鉄鋼事業
 - 22 商社事業
 - 24 エンジニアリング事業
 - 28 京浜土地活用
- 30 社外取締役座談会

価値創造の実践

- 35 人財戦略
- 41 ステークホルダー・エンゲージメント
- 42 JFEの歴史
- 44 JFEグループの価値創造
 - 44 価値創造の源泉／鉄の価値
 - 45 技術力で社会に貢献し続ける
 - 46 付加価値の高いJFEブランドを生み出すビジネスモデル
 - 46 鉄鋼事業×商社事業
 - 47 エンジニアリング事業
- 48 価値創造プロセス
- 49 経営上の重要課題（マテリアリティ）
- 52 事業別戦略
 - 52 鉄鋼事業
 - 53 エンジニアリング事業
 - 54 商社事業
 - 55 洋上風力発電ビジネスにおけるグループ連携の取り組み

経営基盤

- 56 機能別戦略
 - 56 環境的持続性への取り組み
 - 64 DX戦略
 - 66 知財戦略
- 68 企業価値を支える経営基盤
 - 68 マネジメント体制
 - 70 コーポレートガバナンス
 - 80 人権の尊重

データ集

- 82 国内主要拠点
- 83 海外主要拠点
- 84 国内主要グループ会社
- 85 マテリアルフロー
- 86 非財務ハイライト
- 88 財務ハイライト
- 90 財務パフォーマンス
- 94 会社情報・株式情報

報告対象期間

2025年度（2025年4月1日～2026年3月31日）
一部対象期間外の活動報告を含む。

対象組織

持株会社：JFEホールディングスおよび傘下の3つの事業会社：JFEスチール、JFEエンジニアリング、JFE商事を報告の主体とし、一部、持分法適用会社：ジャパンマリンユナイテッド、および事業会社の傘下のグループ会社（連結子会社・持分法適用会社）の活動を含む。

参考にしたガイドライン

- ・IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
- ・経済産業省「価値協創ガイダンス」
- ・GRI「サステナビリティレポート・ガイドライン GRIスタンダード」
- ・金融安定理事会「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）最終報告書」

発行時期

Web掲載：2026年9月
（次回発行予定：2027年9月）

免責事項

本レポートに記載されている当社の現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、リスクや不確定な要素を含んでいます。そのため、実際の業績につきましては、今後の世界経済、日本経済や関連する業界の動向等のさまざまな要因により、本レポートに掲載されている見通しと大きく異なる結果となることがあります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんので、ご承知おください。